

令和6年3月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年3月分について、輸出は「半導体等電子部品」、「重電機器」などが減少したものの、「原動機」、「電気回路等の機器」、「医薬品」などが増加したことから対前年同月比4.6%の増加となった。また、輸入は「有機化合物」、「自動車の部分品」などが減少したものの、「原動機」、「航空機類」、「音響・映像機器〔含部品〕」などが増加したことから、同6.8%の増加となった。

その結果、差引額は105億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,129億円	+4.6%	1,024億円	+6.8%	105億円	▲13.3%
	2ヵ月連続の増加		10ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 原動機	61億円	+32.6%	輸入	増加品目	(1) 原動機	212億円	+13.7%
		(2) 電気回路等の機器	57億円	+23.9%			(2) 航空機類	51億円	+51.6%
		(3) 医薬品	9億円	+632.2%			(3) 音響・映像機器〔含部品〕	37億円	+85.7%
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	118億円	▲35.9%		減少品目	(1) 有機化合物	19億円	▲67.4%
		(2) 重電機器	13億円	▲63.4%			(2) 自動車の部分品	10億円	▲37.0%
		(3) 半導体等製造装置	26億円	▲32.4%			(3) 半導体等製造装置	8億円	▲36.2%
主要地域増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少				主要地域増減	EU、アメリカ、アジアが増加			

(参考) ドルレートは、149.45円（前年同月比10.7%、14.48円の円安）であった。

(注) 月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したものの。

注) 本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。